

(家庭数配布)



### 3 学期、早いもので・・・

1月は「いく」、2月は「にげる」、3月は「さる」とよく言われますが、2月も後半となり、本当に早いと感じています。



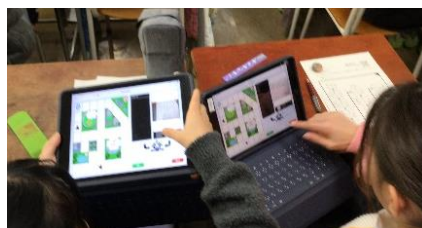
それぞれの学年の締めくくりの時期、やり残しているなど思っていることには、最後までチャレンジして頑張してほしいです。

2月13日(金)は、今年度最後の授業参観でした。たくさんの方に参観いただきありがとうございました。子どもたちは今年1年、出来るようになったことや成長したこと、体験したり、調べたりして学んだこと、考えたことを一生懸命発表していました。参観していただいた皆さんのあたたかいまなざしや拍手が大きな力になっていました。きっと、これからの頑張る力につながると思います。今後ともよろしくお願いいたします。

<1年生・昔あそび> 1月29日、地域の皆さんにご協力いただき、1年生が昔あそびを楽しみました。福笑い、お手玉、けん玉、竹とんぼにチャレンジしました。福笑いは、友達と声をかけ合いながら顔のパーツを置き、出来上がった顔を見て、笑い合っていました。はじめは、なかなかうまくできなかったことも、練習したり、コツをおしえてもらったりすることで少しずつできるようになりました。うまくできた時の笑顔はとても輝いていました。「はじめて、できたあ！」と嬉しそうでした。



<5年生・プログラミング> 1月23日、京都大学廣谷先生とスズキ株式会社君塚さんがプログラミングの授業に来てくれました。このプログラミング教材を開発された方々です。「みんながよくやっているゲーム(スマホやスイッチ等)、それを作る側になるってすごいことじゃない?」ということで、ミッションをクリアするために画面上の車に指示をプログラムし、走らせるという学習をしました。楽々とミッションをクリアする子、苦戦する子、みんな集中して取り組みました。「そんな興味ある楽しいことをするためにも、日々の勉強(国語や算数等)は大切なんだよ。」というお話もありました。



<6年生・平和学習> 1月28日6年生が5年生に向けて、平和学習の発表を行いました。6年生はこの1年間、各教科の学習や修学旅行等で、戦争の悲惨さや平和の大切さ、命の尊さについて学んできました。学んだことを劇と歌に託して、5年生に届けました。心があたたかくなるような素敵な時間となりました。6年生の一生懸命な姿や学びの内容に触れた5年生は、4月から緑地小学校の最高学年として頑張ってくれることと思います。この発表は1月17日、豊中市人権平和の集い～はばたけ豊中の子どもたち～でも豊中市民の皆さんにも見ていただきました。



### 《第3回 学校運営協議会 報告》

2月5日（木）、第3回学校運営協議会を行いました。「令和7年度全国学力・学習状況調査の結果」と「子どもの安全見守り隊」について話をし、ご意見をいただきました。

#### 1. 「令和7年度全国学力・学習状況調査の結果」（6年生のみ実施）

豊中市の結果や分析については、市のホームページでご覧いただけます。緑地小学校では、国語、算数、理科ともに大阪府、豊中市平均と同程度もしくは少し上回る正答率でした。気になる部分は、記述式の解答欄には何も書かない児童が見られたので、今後少しずつでも自分の考えを書くことに取り組みたいと考えています。また、質問調査結果では、基本的な生活面はご家庭のご協力もあり、しっかりと身につけている部分が多かったです。府や全国と比べて肯定的回答が少なかった質問は、ICT機器の活用に関する質問と、

「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。」

「人が困っているときは、進んで助けていますか。」

「いじめはどんな理由があってもいけないことだとおもいますか。」

「人の役にたつ人間になりたいと思いますか。」

「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。」

「これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありましたか。」

「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。」という質問でした。

今後、この結果をふまえながら、学力も心も両輪で育てることのできる教育活動を全教職員で考え、取り組んでいきたいと考えています。地域の方々や保護者の皆様との連携もより大切になると考えています。

#### 2. 「子どもの安全見守り隊」

現在、登下校時に地域の各種団体の方々やPTA校外委員の方に、子ども達の安全見守りをいただいています。子ども達の安全のため、ご協力いただいておりますが、参加者の減少、高齢化等の課題があります。

保護者の皆様の可能な範囲でのご協力もお願いしたいです。例えば、下校時間に近所の買い物や犬の散歩、洗濯物の取り入れ、水やりなど、「ながら見守り」のご協力をお願いします。

また、交通安全についてご家庭でも折に触れ、子どもと一緒に話していただきたいと思います。

